

高次脳機能障害の方への 就労支援



独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター

はじめに

障害者職業総合センター職業センターは、高次脳機能障害者の方の利用増加と職業リハビリテーションニーズの高まり等を受け、平成11年度から職場復帰等に係る就労支援技法の開発を目的に業務の展開を図り、現在に至っております。

これまで、その開発の成果につきましては、「実践報告書」を作成するとともに、「職業リハビリテーション研究発表会」、「職業リハビリテーション実践セミナー」等において報告してまいりましたが、今般、これまでの開発成果を用いて、ご本人・ご家族及び事業主の方等に活用頂けるような簡易マニュアルを作成しました。

本マニュアルが、ご本人並びに高次脳機能障害者の就労を支援する関係者の一助となれば幸いです。

平成18年3月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター

職業センター長 佐藤修一

目 次

I 高次脳機能障害の捉え方

- 1 高次脳機能障害って何? 1
- 2 どんな障害があるの? 3
- 3 障害ではないんだけど... 15
- 4 何が原因? 17
- 5 脳の疲れについて 19

II 高次脳機能障害の方の就職・復職活動

- 1 就職を目指す方へ 21
- 2 復職を目指す方へ 23
- 3 就職・復職のコツは? 25

Ⅲ 職場でのサポート

- 1 高次脳機能障害の方を職場で
受け入れるためのポイントは？ 31
- 2 職場定着 35
- 3 ちょっと待って！！リハビリ出勤 37

Ⅳ 参考資料

- 1 高次脳機能障害の診断基準について .. 39
- 2 地域障害者職業センター一覧 41

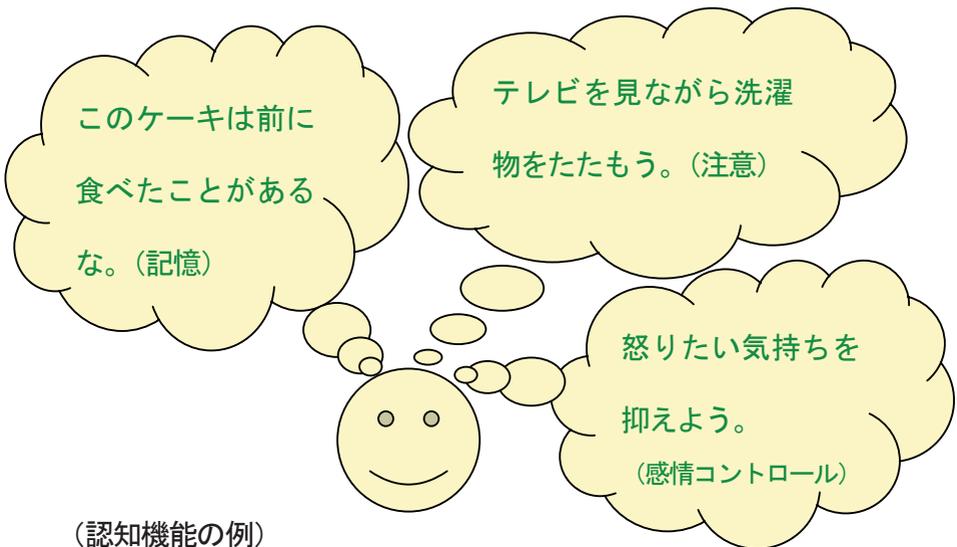
Ⅴ 参考文献 43

I 高次脳機能障害の捉え方

1 高次脳機能障害って何？

事故や病気で脳に損傷を受けたために、その後遺症として「記憶」や「注意」、「社会的行動」などの認知の機能（高次脳機能）が低下した状態をいいます。（詳しい診断基準については、39ページの参考資料を見てください。）

高次脳機能障害は日常生活の中で現れますが、外見やちょっとしただけのかかわりでは障害があると見えにくいため「周りの人には理解しにくい障害」といわれています。



(認知機能の例)

高次脳機能障害の種類は？

- 注意障害▶ 3ページ
- 記憶障害▶ 5ページ
- 失語症▶ 7ページ
- 半側空間無視▶ 9ページ
- 遂行機能障害▶ 11ページ
- 行動と感情の障害▶ 13ページ

その他

- 失行症
- 失認症

などがあります。

2 どんな障害があるの？

注意障害について

注意障害は「脳が広範囲に損傷された場合」に起こりやすい障害といわれており、「注意」には下記の4つの機能があります。損傷を受ける前と比べてどの機能が低下しているのかによって工夫の仕方が変わってきます。

注意の機能と障害の現れ方

- ① 続ける
 - ・ まわりの音や声に注意が散りやすくなった。
 - ・ 1つのことに集中できる時間が短くなった。
- ② 見つける
 - ・ 目の前にあるのに気付かない。
- ③ 同時にいくつかのことをする
 - ・ 洗濯物をたたみながらテレビを見るなど、「～しながら」ができなくなった。
- ④ 変える
 - ・ 集中して本を読んでいるときに声をかけられても気づかない。また、読むのを中断して話をした後、本を読んでいたことやどこまで読んでいたかを忘れてしまう。

どうすればいいの???

1. こまめに休憩をとる。

2. 気付きやすいようにする。

(例: 附箋に注意事項を書いて、パソコンに貼り付ける)

(例: キッチンタイマーなど、音が出るものや振動、
光を利用して気づきやすいようにする)

3. 1つずつできるように段取りを組む。

4. メモをとる。

ポイント

目や耳で気付きやすいようにすること、
1度に1つのことを行うことが重要で
す！！

★うまくいく方法は人それぞれです。いろいろ試して自分に合う方法を見つけましょう！いくつかの方法を組み合わせるう合わせ技も効果的です。

2 どんな障害があるの？

記憶障害について

記憶障害は「脳の海馬が損傷された場合」に起こりやすい障害といわれています。損傷を受ける前と比べて、新しいことが覚えにくい、覚えたことを思い出せないなどの症状です。

現れ方

- ・ ものの置き忘れが多い。置いた場所を忘れる。
- ・ 約束を忘れる。
- ・ 目的の場所への行き方を忘れる。
- ・ 何度も同じことを質問する。
- ・ 服薬や食事、話した内容など、出来事を忘れる。
- ・ 実際とは違うことを気づかずに話をする。
- ・ 思い出すのにヒントが必要。

どうすればいいの???

- ・ ものの置き場所を決め、ラベルを貼るなど目印を付ける。
- ・ 出来事や予定はスケジュール帳などにメモをとり、必要に応じて見る。
- ・ 道に迷いやすい場合は、お店などの建物や看板を目印にする。また、地図を持ち歩く。位置探索機能付きの携帯電話や携帯情報端末（PDA）を使う。

ポイント

覚えなくても目で、耳で確かめられるようにすることが重要です！！

★うまくいく方法は人それぞれです。いろいろ試して自分に合う方法を見つけましょう！いくつかの方法を組み合わせる組み合わせ技も効果的です。

2 どんな障害があるの？

失語症について

失語症は一般に左大脳半球が損傷された場合に起こりやすい障害といわれています。「聴く」、「話す」、「読む」、「書く」などに影響しますが、どの部分の力が低下しているかは人によって異なります。

現れ方

- 聴く
 - ・話を聞いても理解できない。
 - ・わかったつもりでやったら間違えた。
- 話す
 - ・頭ではわかっているのに言葉が出ない。
 - ・言葉を言い間違える。
 - ・相手に話を理解してもらえない。
- 読む
 - ・文字や数字を間違える、読めない。
- 書く
 - ・文字を間違える、書けない。

どうすればいいの???

聴く、話す

- ・ ジェスチャーをまじえて伝える（伝えてもらう）。
- ・ 絵や文字で伝える（伝えてもらう）。

読む、書く

- ・ 仮名をすぐに思い出せない時は、平仮名・片仮名の50音表を使う。
- ・ アルファベットやローマ字表記の表を使う。
- ・ 電子辞書やパソコンの音声読み上げソフトを使う。

ポイント

目や耳で言葉を確認されること、相手に気持ちや考えを伝えられることが重要です！！

★うまくいく方法は人それぞれです。いろいろ試して自分に合う方法を見つけましょう！いくつかの方法を組み合わせる組み合わせ技も効果的です。

2 どんな障害があるの？

半側空間無視

半側空間無視は「脳の頭頂葉が損傷された場合」に起こりやすい障害といわれています。左（または右）側が見えているのに気づかない（見ていない）状態をいいます。

現れ方

- ・ 食卓で左側半分（または右側半分）のおかずだけを食べ残す。
- ・ 外出時、左（または右）から来た車や人、ものに気づきにくく、時にはぶつかることもある。
- ・ 数字を読む時、「8」を「3」と読むことがある。
- ・ 数列を読む時、桁を間違える。

どうすればいいの???

- ・ 左（または右）側に「気づきにくいこと」、「見ていないことがあること」を意識する。
- ・ 外出時や食事など、意識して左（または右）側を見るようにする。
- ・ 文章を読む時は、左（または右）の端がどこまであるかを指でポインティングしながら確かめる。

ポイント

まずは、左（または右）側に意識がむきにくいと気づくことが重要です。

★うまくいく方法は人それぞれです。いろいろ試して自分に合う方法を見つけましょう！いくつかの方法を組み合わせる行う合わせ技も効果的です。

2 どんな障害があるの？

遂行機能障害について

遂行機能障害は「前頭葉が損傷された場合」に起こりやすい障害といわれています。計画を立てて実行するまでの機能を遂行機能といいます。

現れ方

- ・ 「何にどのくらい時間がかかるのか」といった時間の見積もりが苦手。
- ・ 行き当たりばったりの行動になりがち。
- ・ 計画に無理があるため、計画を立てても実行できない。
- ・ 自分の行動の結果を予想することが苦手。
- ・ 簡単な調理ができない。

どうすればいいの???

- ・ 計画を立てるときは、紙に書きながら行う。
- ・ スケジュールは、時間や場所、内容をスケジュール帳に記入する。
- ・ 手順書を作り、混乱した場合に見る。

ポイント

頭の中ではなく、目で確かめられるようにすることが重要です！！

★うまくいく方法は人それぞれです。いろいろ試して自分に合う方法を見つけましょう！いくつかの方法を組み合わせるう合わせ技も効果的です。

2 どんな障害があるの？

行動と感情の障害

行動と感情の障害は「前頭葉が損傷された場合」に起こりやすい障害といわれています。感情のコントロールや状況に適した行動が行いにくくなります。

現れ方

- ・ 気持ちが沈みがち。
- ・ 怒りっぽい。
- ・ 不安になる。
- ・ 意欲がわからない。
- ・ 欲しいもの、したいことがあると我慢できない。

どうすればいいの???

- ・ 意欲 ➡ まずは好きなこと、やってもいいかなあ、と思うことを自分で決めてやってみる。
- ・ 不安 ➡ 不安なことを書き出して、その解決方法を見つける。また、解決方法は後から見返せるようにメモをする。
- ・ 気持ちが沈んだとき、怒っているとき、不安になったとき、意欲がわからないときは ①気持ちが落ち着くまで、まずは休憩する。 ②気持ちが落ち着いたら、その原因を考える。 ③どうしてそうなったのかを考え、次はどうすればいいのかをメモをする。 ④次にそうなったときに見返す。

★うまくいく方法は人それぞれです。いろいろ試して自分に合う方法を見つけましょう！いくつかの方法を組み合わせる場合も効果的です。

3 障害ではないんだけど・・・

高次脳機能障害に影響を与える要因

脳に損傷を受けた後に「怒りっぽくなった」と周囲が感じることがあります。「行動と感情の障害」のためかもしれませんが、その他の原因も考えられます。例えば・・・

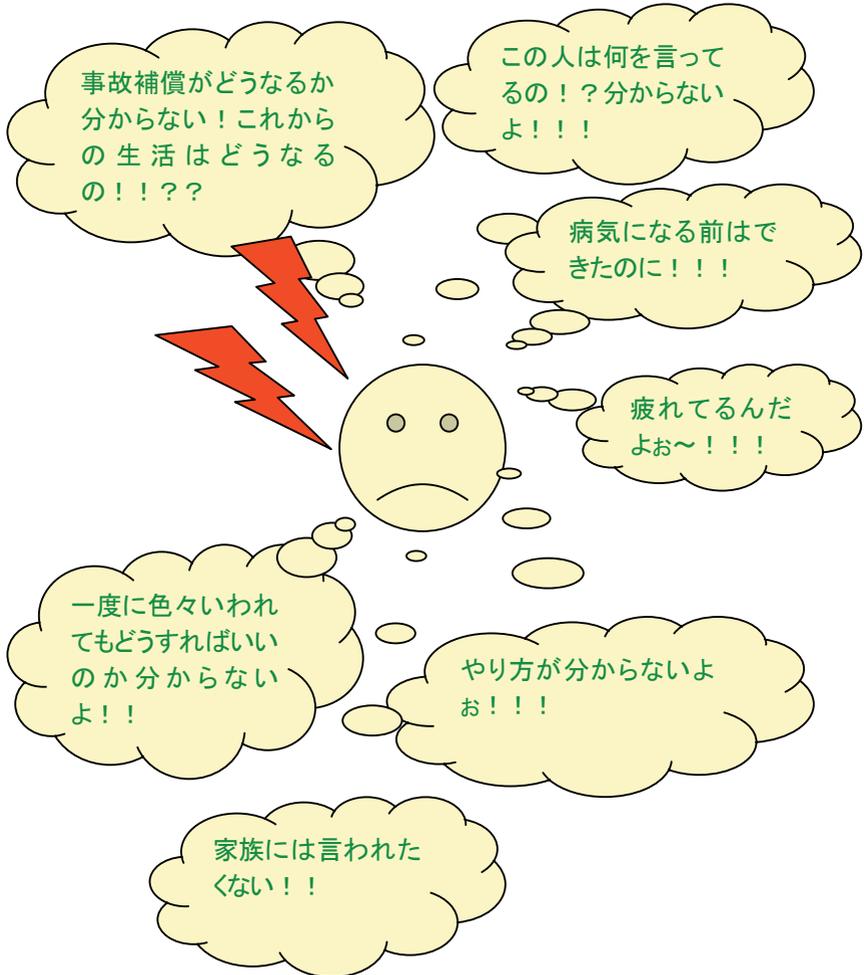
その他の原因

- 身体マヒ …… 疲れやすい。
- 事故補償 …… これからどうなるの？
- 年金 …… 受給できるの？
- 人間関係 …… 注意されてばかりだ。

など

このように高次脳機能障害が直接影響しているだけでなく、その他の原因が「疲れ」や「意欲の低下」、「感情を抑えること」に影響することがあります。

怒りっぽくなったのはどうして???



4 何が原因？

いろいろなことが関係している

脳に損傷を受けた後に「約束を守れない」という方がいますが、それはなぜでしょうか？

- ①「約束を忘れてしまった」 ➡ 記憶障害
- ②「メモのとり忘れ、メモの見忘れ」 ➡ メモの習慣がない
- ③疲れていて「覚える気力がなかった」ために「覚えてない」 ➡ 疲れ
- ④他に気になることがあり「覚えること」に集中できず「覚えてない」 ➡ 注意障害

正解は・・・どれも正解の可能性があります。そして、①～④以外の正解も考えられます。一人ひとり、その時々で原因は変わります。「うまくいかなかった」を解決するためには、まず、原因を探ってから「どうする???’を考えることが重要です。

約束を守れないのはどうして???



5 脳の疲れについて

脳に損傷を受けて高次脳機能障害となった方は「脳が疲れやすい」といわれています。

脳が疲れるとどうなるの???

- ① イライラする。
- ② 集中できない。
- ③ 作業効率が下がる。
- ④ 作業ミスが多い。

など

また「脳の疲れ」は体の疲れに比べてわかりにくいようです。疲れには人それぞれに「サイン」があるので、そのサインをまず探すことから始めましょう。

疲れのサイン

眠気 ・ あくび ・ 目の痛み ・ ミスが増える ・
頭が重くなる

など

体の疲れも、脳の疲れも「疲れたら休む」ことで、疲れをとることができます。疲れが大きければ大きいほど、疲れがとれるまでに時間がかかります。疲れが小さいうちに「休む」と短時間で効果的に疲れをとることができます。

どうすればいいの???

- ステップ1. 自分の「疲れのサイン」を知る。
- ステップ2. 疲れたら休む。
- ステップ3. 疲れる前に休む。

休むときのポイント

脳を休めるためには「脳に大きな負担のかかる作業をしない」ことがポイントです。

また、自分に合う休み方を見つけることもポイントです。

- のんびり音楽を聴く。
- 外をぼんやりと眺める。
- 目を閉じる。
- ストレッチをする。 散歩をする。
- 仮眠をとる。

など

II 高次脳機能障害の方の就職・復職活動

1 就職を目指す方へ

脳機能に障害の起きる前と後では「仕事の仕方」や「できる仕事」などの「会社への自己紹介の内容」が変わる場合があります。また、「脳機能に障害が起きたことを会社に伝えるかどうか」、「障害者手帳を持っていることを伝えるかどうか」等によっても「会社への自己紹介の内容」が変わります。

脳機能に障害の起きた方の就職活動の一般的な流れを次のページにあげます。就職にむけてのステップを考える参考にしてください。

なお、病院での治療やリハビリを終えたあと、就労支援機関を利用して就職を目指す場合の例です。「職業評価」や「トレーニング」「実習」は、その人それぞれの状況に応じて行うものです。

就職にむけての一般的な流れ

病気・事故
病院でのリハビリ

職業評価

トレーニング

会社探し

面接

実習

就職

(継続して就労)

どんな仕事があるの？

やりたい仕事は？

できる仕事は？

・何でもできる？

・こうすればできる？

・これならできる？

・履歴書、職務経
歴書は？

・会社に伝えたいこと
は？

・理解して欲しいこと
は？

2 復職を目指す方へ

これから職場に復帰するにあたって、何か準備は必要でしょうか？

脳機能に障害が起きる前と後では「仕事の仕方」や「できる仕事」が変わる場合があります。また、病気や事故で休んでいたことを知っている会社は、以前と「どう変わったのか？」、「何ができるのか？」、「どう接したらいいのか？」等を知り、「もとの仕事を任せるのか」、「別の仕事を任せるのか？」などを検討することになります。そのため、「以前とどう変わったのか？」、「何ができるのか？」を会社に伝え、会社と調整する必要があります。会社によって調整できる内容は異なりますが、復職にむけての一般的な流れを次のページにあげますので、参考にしてください。

復職にむけての一般的な流れ

病気・事故
病院でのリハビリ

復職の相談

職業評価

トレーニング

会社との調整

詳細は37ページを
ご覧ください。

リハ出勤

復職

(継続して就労)

・もとの仕事にもどれる？

・もとの仕事はできる？

・やりたい仕事は？

・何でもできる？

・こうすればできる？

・これならできる？

・別の仕事ならできる？

・会社に伝えたいことは？

・理解して欲しいことは？

・会社の人を知りたいこと
は？

3 ①就職・復職のコツは？

脳機能に障害が起きた後の生活では、外出が減ったり、家族が知らず知らずのうちにフォローしているために『うまくいかない』に気づきにくい場合があります。そのため、仕事を始めたたん、『うまくいかない』が仕事のミスとして現れたり、効率が悪い、という形で現れたりします。

まずは注意深く自分を観察してください。そして『うまくいかない』に気づくことがスタートです。『うまくいかない』に気づいたら『どうすればいいのか？』を考えてください。そして、『どうする』を身に付けてください。これが就職・復職のコツです。

「どうすればいいのか？」のヒントは3ページ～20ページの「どうすればいいのか??？」にあります。

ステップ 1. 「うまくいかない」に気づく



うまくいかないなあ。
どうしてだろう。

ステップ 2. 「うまくいかない」を「どうすればいいのか？」考える。



こうすればいいの
かな？

ステップ 3. うまくいく方法を身に付ける。



こうすればもう大
丈夫！！

3 ①就職・復職のコツは？

仕事の成功の秘訣は・・・

簡単！ 確実！！ 分かりやすい！！！！

障害のあるなしにかかわらず、仕事のプロはみんな何らかの工夫をして、仕事を正確に行い、作業効率をアップさせています。これまでと同じように作業をしているのに「作業効率が落ちた」、「作業ミスが出た」というときは「どうすればよいか？」を仕事のプロとして考えてみてください。

工夫の方法はいろいろありますが、複雑な方法ではなく「手ごろで」「わかりやすく」、その工夫をすることで「確実にミスを防げる」ことがポイントになります。工夫のヒントは3ページ～20ページの「どうすればいいの??？」に書いてあるので、自分にあった方法を見つけてください。

工夫のポイント

簡単！にできる

『指でポインティング』するだけで、数字の読み間違いを防ぐ。

确实！！にできる

『指でポインティング』すれば、数字の読み間違いはしない。

わかりやすい！！！！

写真やイラスト入りの手順書。

工夫をする前に…

疲れていたら休みましょう！！！！

3 ①就職・復職のコツは？

会社の人への説明のコツは・・・

障害や苦手なことの説明は『**できる方法**』を伝える



〇〇障害の影響で××が苦手ですが、△△すれば**できます**。

理解してほしいことは**はっきりと伝える**



通院日を変更できないため、申しわけないのですが毎月第1月曜日の午前中は休ませて**ください**。

よくある質問 ～ 就職活動編 ～

Q. どんな仕事ができるの？どのくらいできるの？

どの仕事なら任せられるかな？

Q. どんな障害なの？

会社として配慮すべきことはあるのかな？

通院日は平日？通勤ラッシュは大丈夫？

Q. どうしてこの会社で働きたいの？

やる気はあるのかな？

Q. これまでの職歴は？

前の仕事のスキルをこの会社で活かせるかな？

よくある質問 ～ 復職活動編 ～

Q. 以前とどう変わったの？何ができるの？

もとの仕事を以前と同じようにできるの？

別の仕事を任せたいほうがいい？

Ⅲ 職場でのサポート

1 高次脳機能障害の方を職場で受け入れるためのポイント は？

①職務内容はどうする??

病気や事故で脳に損傷を受けて高次脳機能障害の現れた方をこれから採用する会社や、休職していた方を受け入れる会社から、「本人に任せる職務をどうやって決めよう…」といった、疑問や質問が聞かれます。特に、復職する方を受け入れる会社では「もとの仕事に復帰できる可能性」をさぐることから始まりますが、脳に損傷を受けた方の中には、1ページ～20ページで紹介したような障害のために、以前と同様の職務遂行を期待しにくい場合があります。そういった状況の中で職務を決定する場合のポイントを次のページにあげました。新規採用する方の職務検討に際しても参考にしてください。

職務決定のポイント

本人の受障後の能力・特性の把握

「できる・できない」だけでなく、「どうすればできるのか？」がポイントになります。

職務と本人の障害特性とのマッチング

〔求職者〕想定していた職務について、全てにマッチングするのか、一部にマッチングするのかを確かめます。

〔復職者〕もとの職務の全てにマッチングするのか、一部がマッチングするのかを確かめます。

一日分の職務にする

一日の仕事として職務が不足する場合は、対応可能な別の職務を同一部署や他部署から集めて一日分の職務とすることも一つの方法です。

②周囲の方の協力がが必要です

作業工夫の応援

作業の正確性の維持や効率アップのために、ご本人はさまざま工夫をしています。また、こまめな休憩が必要な方もいます。これらの工夫や休憩については、暖かく見守ってください。ただし、本人が気づかないうちに周囲に迷惑をかけている場合などは、指摘してください。

ご本人がしている工夫の例は3ページ～20ページにあります。



573…
461…



声だし確認をして
るんだな。



ミスの指摘は解決に繋がるように

ミスの指摘がないとご本人は気づかないので、ミスをきちんと伝えてください。また、ミスの指摘とあわせて「ミス対策」を確認してください。ご本人が分からないときは、一緒に考えたりアドバイスがあると、次のミスに繋がりにくくなります。「ミス対策」についてのヒントは3ページ～20ページの「どうすればいいの??？」にあります。

コミュニケーション

障害に対する配慮は大切ですが、必要以上の気遣いはご本人の負担になる可能性があります。日常会話や食事の誘いなどは周囲と同様にあると、ご本人も職場で「受け入れられている」という安心感になるでしょう。

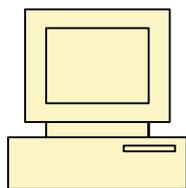
ただし、飲酒や食事について医師から制限を受けている場合もあるため、まずは健康に関することを確認し、ご本人の意向を聞いてください。

2 職場定着

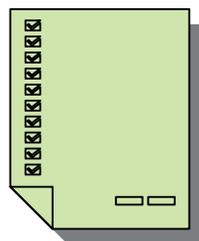
職務内容が変更するときや新しい職務が加わる時は、作業について本人が十分理解できるまで説明する必要があります。また、作業手順書などメモを残すことが有効な方もいます。

正確な作業遂行を行うためには、その作業に応じた作業工夫が必要になりますが、作業内容を理解し、自分にあつた作業工夫を考え、実行するという、複数のことを同時に行うことを苦手とする方が多いため、ひとつひとつ取り組むとよいでしょう。

作業の取り組み始めは、ミスが出やすかったり、作業時間がかかったりしますが、自分にあつた作業方法が見つかれば正確性・効率のアップにつながります。



パソコンの音声読み上げソフト



作業手順書

ステップ 1. 「理解できる」まで説明する

口頭で説明するだけでなく、文字や絵を使ったり、実際にやって見せることで理解しやすいことがあります。

ステップ 2. 作業手順を覚える

説明した手順が本人に合う手順とは限らないため、必要に応じて手順を変更することもポイントです。

ステップ 3. 作業ミスの対策や効率アップの工夫をする

作業ミスが発生した場合のミス対策や効率アップを図るために作業工夫をすることも重要です。

3 ちょっと待って！！リハビリ出勤

リハビリ出勤は、復職前のウォーミングアップとして大切なことです。ただし、正式に復職する前に職場へ行くこと、そして、そこで作業を行うことについて「復職」と何が違うのか？が曖昧となり、そのためにトラブルが発生しやすいと考えられます。そのため、リハビリ出勤を始める前に確認してください！！

- ① 社員からの指示を受けない。
- ② 作業内容や仕事をする場所、会社にいる時間について、会社からの拘束を受けない。
- ③ 作業は体験であって、賃金は発生しない。 など

リハビリ出勤をしているとき、会社と自宅の往復時や会社の中で怪我をしてしまった…など、トラブルが発生したとき、誰にどのような責任や保障が発生するのかを明らかにしてから、リハビリ出勤を行うとよいでしょう。その際、支援機関を利用してリハビリ出勤することで、支援機関の持つ保障制度があれば、それを利用することも有効です。

4 支援機関の活用について

- 採用する前にもう少し本人を知りたい……。
- 復職後の職務について、会社と本人・家族だけでは検討が難しい。
- 作業を思うようにできない。
- どのように接していいかわからない。

高次脳機能に障害のある方の採用や復職に際して、困っていることや疑問がありましたら、全国にある地域障害者職業センターにご相談ください。お問い合わせ先は、41ページの一覧のとおりです。

IV 参考資料

1 高次脳機能障害の診断基準について

厚生労働省:高次脳機能障害支援モデル事業の障害の定義より

診断基準

I. 主要症状等

1. 脳の器質的病変の原因となる事故による受傷や疾病の発症の事実が確認されている。

2. 現在、日常生活または社会生活に制約があり、その主たる原因が記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害である。

II. 検査所見

MRI、CT、脳波などにより認知障害の原因と考えられる脳の器質的病変の存在が確認されているか、あるいは診断書により脳の器質的病変が存在したと確認できる。

III. 除外項目

1. 脳の器質的病変に基づく認知障害のうち、身体障害とし

て認定可能である症状を有するが上記主要症状（Ⅰ－2）を欠く者は除外する。

2. 診断にあたり、受傷または発症以前から有する症状と検査所見は除外する。

3. 先天性疾患、周産期における脳損傷、発達障害、進行性疾患を原因とする者は除外する。

Ⅳ. 診断

1. Ⅰ～Ⅲを全て満たした場合に高次脳機能障害と診断する。

2. 高次脳機能障害の診断は脳の器質的病変の原因となった外傷や疾病の急性期症状を脱した後において行う。

3. 神経心理学的検査の所見を参考にすることができる。

なお、診断基準のⅠとⅢを満たす一方で、Ⅱの検査所見で脳の器質的病変の存在を明らかにできない症例の場合、慎重な評価により高次脳機能障害と診断されることがあります。

また、この診断基準については、今後の医学・医療の発展を踏まえ、適時、見直しを行うことが適当とされています。

センター名	所在地	電話番号	FAX番号
北海道障害者職業センター	〒001-0024 札幌市北区北二十四条西5-1-1札幌サンプラザ5F	011(747)8231	011(747)8134
旭川支所	〒070-0034 旭川市四条通8丁目右1号ツジビル5F	0166(26)8231	0166(26)8232
青森障害者職業センター	〒030-0845 青森市緑2-17-2	017(774)7123	017(776)2610
岩手障害者職業センター	〒020-0133 盛岡市青山4-12-30	019(646)4117	019(646)6860
宮城障害者職業センター	〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-1	022(257)5601	022(257)5675
秋田障害者職業センター	〒010-0944 秋田市川尻若葉町4-48	018(864)3608	018(864)3609
山形障害者職業センター	〒990-0021 山形市小白川町2-3-68	023(624)2102	023(624)2179
福島障害者職業センター	〒960-8135 福島市腰浜町23-28	024(522)2230	024(522)2261
茨城障害者職業センター	〒309-1703 茨城県笠間市鯉淵6528-66	0296(77)7373	0296(77)4752
栃木障害者職業センター	〒320-0865 宇都宮市陸町3-8	028(637)3216	028(637)3190
群馬障害者職業センター	〒379-2154 前橋市天川大島町130-1	027(290)2540	027(290)2541
埼玉障害者職業センター	〒338-0825 さいたま市桜区下大久保136-1	048(854)3222	048(854)3260
千葉障害者職業センター	〒261-0001 千葉市美浜区幸町1-1-3	043(204)2080	043(204)2083
東京障害者職業センター	〒170-6008 豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60(8F)	03(3989)9651	03(3989)9653
多摩支所	〒190-0012 立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル5F	042(529)3341	042(529)3356
神奈川障害者職業センター	〒228-0815 相模原市桜台13-1	042(745)3131	042(742)5789
新潟障害者職業センター	〒950-0067 新潟市大山2-13-1	025(271)0333	025(271)9522
富山障害者職業センター	〒931-8443 富山市下飯野新田70-4	076(438)5285	076(438)5234
石川障害者職業センター	〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松2-244	076(246)2210	076(246)1425
福井障害者職業センター	〒910-0026 福井市光陽2-3-32	0776(25)3685	076(25)3694
山梨障害者職業センター	〒400-0864 甲府市湯田2-17-14	055(232)7069	055(232)7077
長野障害者職業センター	〒380-0935 長野市中御所3-2-4	026(227)9774	026(224)7089
岐阜障害者職業センター	〒502-0933 岐阜市日光灯6-30	058(231)1222	058(231)1049
静岡障害者職業センター	〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-6 大同生命静岡ビル7F	054(652)3322	054(652)3325
愛知障害者職業センター	〒453-0015 名古屋市市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル2F	052(452)3541	052(452)6218
豊橋支所	〒440-0888 豊橋市駅前大通り1-27 三菱UFJ証券豊橋ビル6F	0532(56)3861	0532(56)3860

センター名	所在地	電話番号	FAX番号
三重障害者職業センター	〒514-0002 津市島崎町327-1	059(224)4726	059(224)4707
滋賀障害者職業センター	〒525-0027 草津市野村2-20-5	077(564)1641	077(564)1663
京都障害者職業センター	〒600-8235 京都市下京区西洞院通塩小路下る東油小路町803	075(341)2666	075(341)2678
大阪障害者職業センター	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-4-11 クラボウアネクストビル4F	06(6261)7005	06(6261)7066
南大阪支所	〒591-8025 堺市長曾根町130-23 堺商工会議所5F	072(258)7137	072(258)7139
兵庫障害者職業センター	〒657-0833 神戸市灘区大内通5-2-2	078(881)6776	078(881)6596
奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路4-2-4	0742(34)5284	0742(34)1899
和歌山障害者職業センター	〒640-8323 和歌山市太田130-3	073(472)3233	073(474)3069
鳥取障害者職業センター	〒680-0842 鳥取市吉方189	0857(22)0260	0857(26)1987
鳥根障害者職業センター	〒690-0877 松江市春日町532	0852(21)0900	0852(21)1909
岡山障害者職業センター	〒700-0952 岡山市平田407	086(243)6955	086(241)3599
広島障害者職業センター	〒732-0052 広島市東区光町2-15-55	082(263)7080	082(263)7319
山口障害者職業センター	〒747-0803 防府市岡村町3-1	0835(21)0520	0835(21)0569
徳島障害者職業センター	〒770-0823 徳島市出来島本町1-5	088(611)8111	088(611)8220
香川障害者職業センター	〒760-0055 高松市観光通2-5-20	087(861)6868	087(861)6880
愛媛障害者職業センター	〒790-0808 松山市若草町7-2	089(921)1213	089(921)1214
高知障害者職業センター	〒781-5102 高知市大津甲770-3	088(866)2111	088(866)0676
福岡障害者職業センター	〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-6-19 ワークプラザ赤坂5F	092(752)5801	092(752)5751
北九州支所	〒802-0066 北九州市小倉北区萩崎町1-27	093(941)8521	093(941)8513
佐賀障害者職業センター	〒840-0851 佐賀市天祐1-8-5	0952(24)8030	0952(24)8035
長崎障害者職業センター	〒852-8104 長崎市茂里町3-26	095(844)3431	095(848)1886
熊本障害者職業センター	〒862-0971 熊本市大江6-1-38-4F	096(371)8333	096(371)8806
大分障害者職業センター	〒874-0905 別府市上野口町3088-170	0977(25)9035	0977(25)9042
宮崎障害者職業センター	〒880-0014 宮崎市鶴島2-14-17	0985(26)5226	0985(25)6425
鹿児島障害者職業センター	〒890-0063 鹿児島市鴨池2-30-10	099(257)9240	099(257)9281
沖縄障害者職業センター	〒900-0006 那覇市おもろまち1-3-25 沖縄職業総合庁舎5F	098(861)1254	098(861)1116

V 参考文献

- 1) 高次脳機能障害を有する者に対する職業講習の指導技法に関する研究,障害者職業総合センター調査研究報告書 No.32,pp 45,1998
- 2) Ben-Yishay Y, Diller L, Daniels-Zide E 大橋正洋(訳):米国における神経心理学的リハビリテーション,千野直一・安藤徳彦(編集主幹),大橋正洋,木村彰男,蜂須賀研二(編集):リハビリテーションMOOK4 「高次脳機能障害とリハビリテーション」,金原出版株式会社,pp1-11,2001
- 3) 先崎章,枝久保達夫,新井美弥子:ニューヨーク大学医療センター・ラスク研究所「脳損傷者外来通院治療プログラム」で行われている集団を利用した認知・心理療法,Journal of Clinical Rehabilitation, Vol.8 No.6, 1999
- 4) 中島恵子:理解できる高次脳機能障害 脳の障害と向き合おう!,ゴマブックス株式会社,2001
- 5) 中島恵子:理解できる高次脳機能障害 やってみよう!記憶のリハビリ,ゴマブックス株式会社,2003
- 6) 中島恵子:理解できる高次脳機能障害 家庭でできる脳のリハビリ「注意障害」編,ゴマブックス株式会社,2002
- 7) 安保雅博:脳外傷のリハビリ医療介入ー就労支援にむけて,JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION,14,4,pp 313,2005
- 8) 大橋正洋:脳外傷の特性と就労支援,JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION,14,4,pp 314-318,2005
- 9) 先崎章:就労支援にむけたリハビリ評価,JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION,14,4,pp 320-321,2005
- 10) 橋本圭司:就労支援にむけたリハビリ医療介入,JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION,14,4,pp 326-330,2005
- 11) 永吉美砂子,石井里衣,安野敦子,内田恵,上田幸彦,高橋雅子,河合雅代,塩永淳子:ケースにみる就労支援 関係機関との連携により,復職・就労定着に成功した1例,JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION,14,4,pp 333-337,2005
- 12) 小林恒三郎:ケースにみる就労支援 神経症的傾向が顕著であった頭部外傷症例の復帰,JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION,14,4,pp 338-341,2005
- 13) 東京都リハビリテーション病院 高次脳機能障害講習会,2005
- 14) 原元彦,遠藤てる,立石雅子,坂爪一幸,武田克彦,高橋玖美子,本田哲三(編集):高次脳機能障害のリハビリテーションー実践的なアプローチー,株式会社 医学書院,2005
- 15) 永井肇(監修),蒲澤秀洋,阿部順子(編集):脳外傷者の社会生活を支援するリハビリテーション[実践編]~事例で学ぶ支援のノウハウ~,中央法規出版株式会社,2003
- 16) 島薗安雄,保崎秀夫(編集主幹),大橋博司(編集企画):精神科MOOK1 失語・失行・失認,金原出版株式会社,1988
- 17) 高次脳機能障害者のための効果的な支援方法(構想)~医学的リハビリから職場復帰への円滑な支援を中心として~,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.4,1999

- 18)脳損傷者の就業定着に関する研究,障害者職業総合センター,資料シリーズ No.28,2003
- 19)リワークプログラムとその支援技法 在職精神障害者の職場復帰支援プログラムの試行について,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.12,2004
- 20)エドガーH. シャイン,金井壽宏(訳):キャリア・アンカー 自分の本当の価値を発見しよう,株式会社 白桃書房,2003
- 21)エドガーH. シャイン,金井壽宏(訳):キャリア・サバイバル 職務と役割の戦略的プランニング,株式会社 白桃書房,2003
- 22)精神障害者等を中心とする職業リハビリテーション技法に関する総合的研究(中間報告),障害者職業総合センター調査研究報告書,No.52,2002
- 23)精神障害者等を中心とする職業リハビリテーション技法に関する総合的研究(最終報告書),障害者職業総合センター調査研究報告書,No.57,2004
- 24)精神障害者等を中心とする職業リハビリテーション技法に関する総合的研究(活用編),障害者職業総合センター調査研究報告書,No.64,2004
- 25)高次脳機能障害者に対する職場復帰支援―実践事例編―,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.16,2005
- 26)高次脳機能障害者に対する職場復帰支援～職場復帰支援～プログラムにおける事業主支援(事前調整)から～,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.11,2003
- 27)高次脳機能障害を有する者の就労のための家族支援のあり方に関する研究,障害者職業総合センター調査研究報告書,No.58,2004
- 28)職業センター職業準備訓練における指導方法(2)～セルフ・マネージメント・トレーニングを中心に～,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.10,2002
- 29)色井香織・他(医療相談開発部):高次脳機能障害を有する患者に対するグループ指導プログラムの開発と実践,2005
- 30)P.A.アルバート,A..C.トルートマン,佐久間徹,谷晋二(監訳):はじめての応用行動分析 Applied Behavior Analysis for Teachers,有限会社 二瓶社 1994
- 31)松崎有子:知られざる高次脳機能障害 その理解と支援のために,せせらぎ出版,2002
- 32)高次脳機能障害者に対する職場復帰支援 職場復帰支援プログラムにおける2年間の実践から,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.9,2001
- 33)障害の知識と理解の促進シリーズ 高次脳機能障害を理解するために 事例集,障害者職業総合センター職業センター実践報告書,No.13,2004
- 34)高次脳機能障害者リハビリテーション等調査研究会(編集),高次脳機能障害者の診断・リハビリテーションマニュアル,東京都衛生局医療計画部医療計画課,2002
- 35)高次脳機能障害者リハビリテーション等調査研究会(編集),高次脳機能障害者の診断・リハビリテーションマニュアル,東京都衛生局医療計画部医療計画課,2002
- 36)橋本圭司:高次脳機能障害の特性と医学的リハビリテーション,平成17年度第1回職業リハビリテーション実践セミナー,障害者職業総合センター,2005

障害者職業総合センター職業センター支援マニュアル NO.1
高次脳機能障害の方への就労支援

発行日 平成18年3月

編集・発行 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター職業センター

〒261-0014 千葉県美浜区若葉3-1-3

電話 043-297-9042

URL <http://www.nivrjeed.or.jp>

印刷 株式会社 弘報社印刷 幕張営業所



NIVR

ISSN 1881-0993